

## フィールド宝探しゲーム

### (1) 概要

自然の中を散策しながら、条件に合った自然の物（草・花・木・実など）をグループで探し回って集めるゲームです。

集めた物は、他のグループに説明しながら紹介をします。



### (2) 準備物

- ・ビニール袋（大45ℓ程度）班で1枚
- ・ビニール袋（小10ℓ程度）各自1枚
- ・ビニール袋（小2ℓ）注意植物紹介用
- ・長机（班ごとの採取物置き場）

※準備物については原則、団体でご準備いただくことになります。（詳しくは、P115の<ご注意>を参照してください。）

### (3) 手順

- ① 子どもたちに対し、例えば「赤いもの」「背の高いもの」「ふわふわしたもの」「丸いもの」「班の宝物」など、見つけてくるものの条件を提示します。
- ② 班の意識を高める班の合図を決め、かけ声をかけてから出発します。
- ③ 子どもたちは、グループでその条件に合った物を探し回り、見つけた物を持って、スタート地点に戻ってきます。
- ④ グループで見つけた物を、他のグループに一つずつ紹介し、どこのどの部分が条件に合っているかを説明します。

### (4) アクティビティのポイント（特性）

- ① 初めて合った友だちに、「よろしく」と面と向かっていうこともできますが、お互いにまだ緊張や固さがとれていない状況なので、直接的にやりとりを強要するような関係作りではなく、他に目的を持ちながらお互いの関係を少しずつ作っていくようなプログラムとして進めていきます。
- ② グループの中では、次第にその条件に適合するかしないかを話し合いながら自然物を探す光景が見られるようになり、自然の中を散策しながら、お互いを知り、仲良くなる一歩としての時間を楽しく持てるゲームです。

### (5) 留意点

- ① 安全指導が大切です。
  - ・ かぶれやすい植物などを紹介し、むやみに触ったり採ったりしないよう注意します。  
（実物を見せて注意を与えると効果的です。）
  - ・ 注意すべき虫や小動物の種類や潜んでいるような場所などの情報を伝え、「こんな場所には近づかないようにしましょう。」と注意します。
- ② グループでの行動を主としてとらえながらも、個々の動きや発言に留意し、いい気づきや発言をみんなに伝え、紹介します。



## 竹を使ってろうそく立てを作ろう！

### (1) 概要

竹を利用したろうそく立てを作ります。夜の活動のナイトウォークの携行品となります。

長い竹を節の部分を残して切り落とし、竹コップのような形を一人一つずつ作ります。また、竹の中に入る大きさの輪切りの木の中心に、釘を打ち付け、ろうそく立てを作ります。



### (2) 準備物

- ・竹
- ・のこぎり
- ・台（竹を切る際、下の台となるもの）
- ・釘（ろうそくの穴に合わせたもの）
- ・木の輪切り（竹に入る大きさのもの）
- ・ろうそく
- ・紙やすり
- ・軍手（子ども）

※準備物については原則、団体でご準備いただくことになります。（詳しくは、P115の〈ご注意〉を参照してください。）

### (3) 手順

- ① 竹の節を残して切り落とします。枝部分があれば、切り落としコップの形にします。
- ② 切り口は、紙やすりをかけてなめらかにします。
- ③ 竹に入る大きさの木の輪切りを選び、中心に釘を打ち付けます。
- ④ 釘にろうそくを立て、竹の中にまっすぐになるように入れます。

### (4) アクティビティのポイント（特性）

- ① 切る前に竹を触ったり臭いを嗅いだりして、竹のもつ特性を十分感じることができます。
- ② 竹ろうそく立てが、夜の活動へつながることを、明確に子どもたちに伝えておくことで活動のつながりを持ち、意欲が向上します。

### (5) 留意点

- ① のこぎり（刃物）の取り扱いには使用中、それ以外を問わず十分注意します。
- ② ろうそくを入れた際、ろうそくの先が竹から出ない長さに竹を切ります。



### 呼んでる木

#### (1) 概要

目かくしをして広場や林に生えている木に歩いていき、触ったりにおいを嗅いだりして木の感じをとらえます。十分感じ取ったら、目かくしのままスタート位置に戻り、今度は目かくしをとり自分で探して会いに行きます。

子どもたちはほとんど間違わずに、しかも一直線に自分を呼んでいた木に会いに行くのには驚かされます。



#### (2) 準備物

- ・バンダナ（目かくしになるもの）

※準備物については原則、団体でご準備いただくことになります。（詳しくは、P115の<ご注意>を参照してください。）

#### (3) 手順

- ① 参加者（子ども）一人に対し、サポート役（スタッフ）が一人ついて、「この中にあなたが来るのを待ってた木があるんだよ。木はあなたに会いたくて、ずっとあなたのことを呼んでいるんだよ。今からその木に会いに行こう。でも、ただ行くのではなく、目かくしをして会いに行こう。」と、気持ちを少しずつ高まらせます。
- ② 目かくしをして、スタッフの手に引かれ木まで歩いていきます。
- ③ 木の前まで来たら、「あなたを呼んでいた木はどんな木なのかな。表面を触ってみよう、においを嗅いでみよう、大きさを調べてみよう、枝はどう伸びているんだろう。」など、木を様々な角度から五感を使って感じさせます。
- ④ 目かくしのまま、スタッフに手を引かれスタート位置までもどります。
- ⑤ 目かくしをとり、どんな木だったかを子どもと簡単に振り返ります。
- ⑥ 「もう一度、あなたを呼んでいた木に会いに行ってみよう。どの木かわかるかな。」と問いかけ、今度は目かくしをとったまま会いに行きます。
- ⑦ ③の目かくしをしたままで感じた木の様子を、今度は目かくしをとった状態で確認するように見えます。

#### (4) アクティビティのポイント（特性）

- ① 目かくしをすることで、指先や聴覚、嗅覚などの感覚をより研ぎ澄ませ、今まで気が付かなかった何気ない様子を感じ取ることができます。
- ② この自然の中に立っている木が自分を呼んでいるという期待感が、自然を見つめ、大切にしたいという心を育てます。

#### (5) 留意点

- ① 参加者（子ども）は目かくしをしている不安がありますので、その不安をスタッフがしっかり手を握り導くことで安心感を与えましょう。
- ② 参加者（子ども）が気がつかない部分をいかに気づかせるかがポイントです。スタッフの声かけにより、様々な角度から自然（ここでは木）を感じさせてみます。



## ミッケ!

### (1) 概要

生け垣の中に隠されたおもちゃや小物。自然の中にかくれんぼ。さ～てみんなはいくつ見つけられるかな。

「ミッケ!」



### (2) 準備物

・おもちゃ (10個位)

・小物 (10個位)

※どちらも、自然素材の物と人工素材の物を組み合わせて準備する。

例 わらじ 竹とんぼ カップ麺 携帯電話 めがね シャンプー 人形 時計  
クラフト作品 はさみ など

※準備物については原則、団体でご準備いただくことになります。(詳しくは、P115の<ご注意>を参照してください。)

### (3) 手順

- ① 参加者(子ども)が来る前に、垣根(生け垣)の中に準備物を見えるように置いておきます。
- ② 参加者(子ども)に、「この先の生け垣の中にたくさんのおもちゃや小物、こんなところにあったら変だぞ!と思う物が隠されているよ。かくれんぼしているみんな(おもちゃや小物)を見つけることができるかな?」と投げかけます。さらに、頑張ってたくさん見つけていこうね。でも見つけても大きな声を出さずに、何個見つけられたかゴールしたら教えてね。」と告げます。
- ③ さらに、「前の人がこの木まで行ったら次の人はスタートしようね。」と伝えておき、ゴール地点に移動して子どもたちを待ちます。
- ④ ゴールしてきた子どもたちを迎え、何個見つけられたか耳元で静かに聞きます。
- ⑤ 全員がゴールしたら、ゆっくり戻りながらみんなで見つけたおもちゃや小物を確認していきます。
- ⑥ 最後にもう一度、まだ見つけられていないおもちゃや小物を紹介しながら歩いていきます。

### (4) アクティビティのポイント(特性)

- ① 自然の中に隠した物にかくれんぼのように見つけようとする事で、普段目に見えない木々の色や枝ぶりといった自然の様子を見たり気づいたりすることができます。
- ② 自然に形作られた物と人工的に(用途に合わせて)形作られた物との違いに気づくことができます。

### (5) 留意点

- ① 活動前に、危険動物(ハチなど)の有無を十分確認します。
- ② 隠す物の置き場所は、手前や奥、上や下など広い視野で探せるように考えます。
- ③ 子どもの「あっ!」という発見や、「あー!」という納得の気持ちを、振り返りながら大切に扱い、みんなの思いにします。(共有・共感)



### ロープを伝って目かくしの旅に出よう！

#### (1) 概要

ロープを張り巡らされた木々の間をロープを伝いながら目かくしをして進んでいきます。

#### (2) 準備物

- ・ 太さ1.5cm程度のロープ数本。  
長さは20～30m程度
  - ・ バンダナ（目かくしになる物）
- ※準備物については原則、団体でご準備いただくことになります。（詳しくは、P115の<ご注意>を参照してください。）



#### (3) 手順

- ① 木々の間にロープを張り巡らせておきます。その際、同じ高さだけでなく、高低のあるように巡らせていきます。
- ② スタート地点で、今から目かくしの旅に出かけること、ロープがゴールまで導いてくれることを告げます。
- ③ ペアを作り、一人は目かくしをします。
- ④ もう一人は、目かくしをした人の手を引いてロープのあるところまで連れて行きます。
- ⑤ ロープを伝いながら目かくしの旅に出かけます。途中、難しい場面や危ない時は、ペアの人が助けてあげられるようにします。

#### (4) アクティビティのポイント（特性）

- ① 目かくしをすることで、足下の地面のこぼこや周りの様子（雰囲気）を敏感にとらえられるようになります。
- ② ロープ地点までは、パートナーに手を引かれ歩いていきますので、パートナーに対する信頼感や親近感を感じられるようになります。

#### (5) 留意点

- ① 何かの下をくぐるような設定の時は、頭の障害物への衝突に十分注意します。ペアの子へのサポートの仕方を確認しておきます。
- ② 必要以上にサポートをせず、なるべく自分の力でロープを伝って歩いていけるよう促します。



## ペットボトルろうそく立てを作ろう！

### (1) 概要

ペットボトルを使って、中にろうそくを立てるオリジナルのキャンドル立てを作ります。夜は、これを並べてキャンドルナイトを行います。



### (2) 準備物

- ・ ペットボトル  
(15l～2l) 各自1本以上
- ・ はさみ
- ・ 油性マジック
- ・ 畳用ピン  
(ペットボトル1本に1個)
- ・ ろうそく  
(15号 約12cm高 ペットボトル1本に1本)

※準備物については原則、団体でご準備いただくことになります。(詳しくは、P115の<ご注意>を参照してください。)

### (3) 手順

※ ペットボトルはラベルをはがし、中をきれいに洗って乾かしておきます。

① ペットボトルの上部(円錐部)をはさみで切り離します。

※ この時、はさみの上部がペットボトルの中に入るように切り離していくときれいに切ることができます。

② ペットボトルの底の中心にキリなどで穴を開けます。この時、畳用のピンの太さより大きくならないように注意します。

③ 空いた底の穴に、外から畳用のピンを押し込みます。

④ ペットボトルの周りを油性マジックで模様をしっかりと描いていきます。

⑤ 中のピンにろうそくを立て水を5cm程度入れます。

(水は、並べる直前に入れましょう。)

### (4) アクティビティのポイント(特性)

① ペットボトルの形や描き入れたマジックの模様がペットボトルの中の水にきらきら輝き、光の素晴らしさや美しさを感じることができます。

② 水を入れることで、ペットボトルの中が透き通り光を遮断することなく、また重りの役割を果たします。

③ 自分たちの作ったペットボトルを並べて道にしたり、模様を描いたりすることでさらに光の芸術を感じることもできます。～キャンドルナイト～

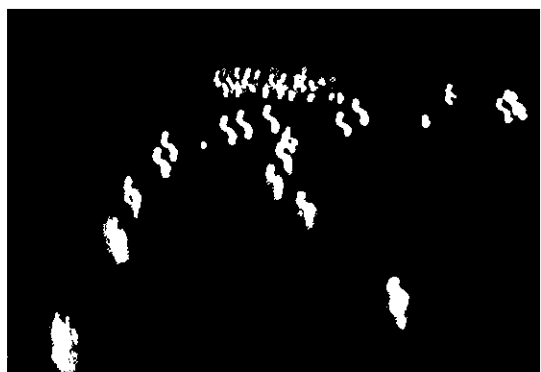
### (5) 留意点

① ペットボトルの切り始めは、非常に堅いので注意してカッターなどで切り口を開けます。

② 底の穴が、ピンより大きくなりすぎると水が漏れることがあります。

③ 点火後は、ペットボトルの上部が熱くなるので注意します。

④ 15～20分程度で、ろうそくが短くなり水に浸かるため消火します。



## わたしの森！

### (1) 概要

葉っぱや実、枝などの自然物を利用して、わたしだけのミニチュアな森作りをします。



### (2) 準備物

- ・ オアシス（生花用スポンジ）
- ・ はさみ
- ・ 針金（細）
- ・ のり
- ・ 木工用ボンド
- ・ グルーガン
- ・ 油性マジック
- ・ つまようじ

※準備物については原則、団体でご準備いただくことになります。（詳しくは、P115の<ご注意>を参照してください。）

### (3) 手順

- ① 散策しながら材料を集めます。
- ② オアシスを自分のイメージの形にカットします。
- ③ イメージに合わせて、材料の高さをはさみでカットしオアシスに差し込みます。
- ④ くっつけたい物については、グルーガンや木工用ボンドを利用して接着してからオアシスに差し込みます。

### (4) アクティビティのポイント（特性）

- ① 身近な木や自然物に触れ親しむことができます。
- ② スポンジの大きさを包み込む入れ物に入れ、水分でスポンジを湿らせると、生け花としても飾ることができます。

### (5) 留意点

- ① 枝を切るときに斜めに切り口を作り、ゆっくり刺します。
- ② 一度刺し込んだスポンジの穴は、ふさがらないので慎重に刺しましょう。